

プラス
RUN伴+開催



10月8日、「RUN伴+2018」(RUN伴+2018とよこ実行委員会)が開催されました。

この事業は認知症の方々が安心して暮らせる町づくりを目指し、認知症の症状や必要とする助けを広く知らせるものです。参加者の年齢は幅広く、小学生からお元気サロンに通う方々まで、お互いを気づかいながら歩みを進め、町内各所をタスキでつなぎました。最後はトヨッピーを始め参加者全員でひだまり交流館にゴールしました。ひだまり交流館では、認知症の理解を深めるための講話やミニ縁日、西日本豪雨災害復興支援に岡山県や広島県の特産品の販売も行い、あいにくの天気でしたが、晴れやかな笑顔が会場にあふれていました。

100歳のお祝いに



9月21日、100歳のお祝いに国から表彰を受けた(左上から)伊関ミツイさん、松井秀雄さん、遠國富徳さん、八巻きよ志さんの4名が賞状と記念品を笑顔で受け取りました。

佐々田沼で MTB 大会



10月7日、佐々田沼周辺を特設会場とした「ドゥラライド マウンテンバイク レース シリーズ豊頃町佐々田沼大会」(東北海道自転車競技連盟主催)が開催されました。道内各地から約80名の参加者が集まり、当日は台風が近づく悪天候のなか11部門に分かれてレースが繰り広げられました。会場ではレースの合間に豊頃町商工会豊頃支部から鮭のちゃんちゃん焼きが振る舞われ「ここで食べるちゃんちゃん焼きを楽しみに来た」と喜ぶ声がありました。



大盛況！はるにれ寄席



10月1日、える夢館はるにれホールで平成30年度豊頃町文化芸術鑑賞事業「はるにれ寄席」(町教育委員会主催)が開催しました。春風亭べん橋さんが前座を務めた「つる」から始まり、夫婦喧嘩から大事になってしまった「天狗裁き」を春風亭一之輔さんが、柳家花緑さんが「妾馬」を家族の温かな繋がりや笑いと



もに語りました。また、ボンボンブラザーズによるジャグリングでは、客席を巻き込んだショーに、子どもから大人まで楽しみました。

える夢オトナの文化講座



10月2日、23日にえる夢館調理室で、える夢オトナの文化講座「秋の夜長のコーヒー講座」が開催されました。全2回のコーヒー講座は、ブルーノ・ダネジさん、はたる・ダネジさん(HoccinoCoffees 帯広市)のお二人を講師として招き、コーヒー豆の種類や味の違いなどを学んだあと、コーヒーのいれ方について学



びました。参加者は、「種類やいれ方によって香りが全然違って驚いた。自宅でも試してみたい」と話し、本格的なコーヒー講座を楽しみました。

健康講座を実施



10月12日、豊頃中央区コミュニティセンターで「健康講座」(豊頃町中央地域づくり協議会主催)が開催されました。「家族を守る救命」と題し、豊頃消防署員から救急搬送が必要な状況にある状態とはどのような状態か、消防署への通報手順、AEDの使用方法等を知ることができ



ました。その後、参加者は実際に消防署へ救急の通報をするという体験をし、緊張した面持ちで消防署員の指示のもと行いました。

災害派遣を実施



10月12日、北海道胆振東部地震における災害派遣の出発報告が役場町長室で行われました。災害派遣については9月に引き続き2回目となり、宮口町長は「短い期間になるが、被災者の心に寄り添った支援を心がけてほしい。体調等に十分気をつけて」と激励しました。派遣職員は、13日から17日の5日間、厚真町にて罹災照明書等の発行について支援を行うことが決まっております。「余震などで未だに不安を抱えている被災者の助けになれるように努力したい」と決意を話しました。

行政相談員永年勤続表彰



石邑良雄行政相談員が町民の行政に対する苦情の解決に尽力された功績を讃えて、10月10日東京で行われた表彰式で総務大臣表彰を受けたことを10月15日、石邑委員が宮口町長へ報告に訪れました。

15年に渡り行政相談員を務めた石邑委員は「これからも住民のために続けていくことができた」と意欲を話し、それを受けた宮口町長は「これからも町民の苦情等に対応いただき、町政に協力をお願いします」と労いました。

防衛講話



10月16日、役場3階会議室で防衛講話が行われました。約30名が集まり、自衛隊員から防衛白書に書かれた軍事力を高めようとする近隣諸国の脅威に対しての具体的な対策やインターネット内の仮想空間(サイバー空間)において増え続けるサイバー攻撃に対し、人員を増やし対応している等の講話がありました。また、日々隊員が行っている訓練の内容について知ることができ、参加者は大きくうなずきながら耳を傾けていました。

▽はるにれは見ていた

広報とよこ

議会だより

役場だより

▽はるにれは見ていた

広報とよこ

議会だより

役場だより

